



白檀北小学校
学校だより
2024年3月4日発行
最終号

閉校まであと少し・・・

この学校だよりもいよいよ最終号。今年度の最終ではなく、白檀北小学校の学校だよりが「最終」なのだと思うと、普段は忙しさをまぎれている「寂しい」という気持ちがむくむくと湧き上がってきます。たった3年勤めただけの私でさえ、このような気持ちになるのですから、子どもたちや保護者、卒業生の方々、この学校に長く関わってくださっている地域の皆さんはもっと寂しい気持ち、感慨深い気持ちになっておられることと思います。子ども達も登校練習、交流などの機会があるたびに「この学校とさようならが近づいている」と感じつつあるようです。

けれどそんな時だからこそ寂しがってばかりいないで、たくさん思い出を作ってきたいです。4月にも書きましたが、子ども達はもちろんのこと、保護者や地域の方々にも「素敵な小学校だった」と思ってもらえることが、新しい小学校を創ろうとする原動力につながるのだと思っています。

特に子ども達には、今、それぞれ役割を与えて、主体的に「学校を閉じる」ことにも関わってもらっています。自分たちでどんどん工夫して取り組もうとするところが白檀北小学校生の大きな魅力です。この魅力を最大限に引き出せる閉校式になればいいなあと思っています。

PTAや地域の方々にも協力してもらいながら、閉校まで楽しく活気のある日々が送れるよう職員一同頑張りたいと思います。運動会で考えてくれたスローガンのごとく

がんばる君と白北のゴールテープを走り抜けるぞ！



先日卒業生の方から「閉校式の日に合わせて同窓会を開きたいので、終わる時間を教えてください」と嬉しい問い合わせがありました。閉校式には懐かしい先生方も来ていただけるよう呼びかけています。保護者で卒業生でもある方は、同級生にもぜひ閉校式に来ていただけるようお声がけください。

6年生を送る会



2月末に6年生を送る会を行いました。各学年ロイノートを使用して、6年生に喜んでもらえる出し物を自分たちで作りました。

2年生は「白檀北小学校のありえない1日」という劇をしながらクイズを出しました。自分たちで考えた台本と、声色を変えたナレーターがとても印象に残りました。3年生は2枚の写真を見比べて違うところを探す「アハ体験」。だんだんレベルを上げたり、ちょっと笑える写真を入れたりするなどの工夫が光りました。4年生は「学校あるあるミステリー」を劇仕立てで行いました。ミステリーの部分も自分たちで考えて、楽しい仕上がりになりました。5年生の「先生シルエットクイズ」ではシルエット+楽しいヒントでクイズを行った後、先生方から6年生へのメッセージも撮影してくれて、卒業が近いことを実感させられました。1年生は手作りの絵がとび出すカードを作り、一人ずつにメッセージを言いながらプレゼントしました。心のこもったカードに照れながらも喜ぶ6年生でした。

その後、6年生手作りの雑巾と分団旗が5年生に手渡された後、6年生からも「学校あるある」の劇を披露してくれました。「あるある」と思わずうなずく楽しい劇でした。

楽しいひと時を過ごし、6年生には良い思い出になったことと思います。



登校練習へのご協力ありがとうございました

2月27日現白檀南小学校への登校練習を行いました。朝早くからたくさんの保護者の方に協力いただき、白檀小学校への道のりを確認したり、時間を測ったりすることができました。

また白檀南小学校では、各学年が2クラスに分かれ、それぞれ自己紹介をしたり、ゲームやすごろくを楽しんだりして交流を行いました。はじめは緊張していた子どもたちも徐々に打ち解け、最後は笑顔で楽しむ姿が見られました。体育館での大人数でのゲームも盛り上がり、少し統合後のイメージができたかなと思います。ご協力ありがとうございました。

